

⑤-01

気管支鏡専門医同時申請用

気管支鏡指導医新規申請書類

ふりがな

氏名

日本呼吸器内視鏡学会会員番号

申請期間 7月1日～7月31日（必着）

気管支鏡専門医証(写し)

貼付欄

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医
推 薦 用 紙

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡専門医 殿を

日本呼吸器内視鏡学会気管支鏡指導医に推薦いたします。

年 月 日

日本呼吸器内視鏡学会評議員

(署 名) _____ ⑩

(署 名) _____ ⑩

日本呼吸器内視鏡学会認定施設（関連認定施設）での
診療実績証明書

日本呼吸器内視鏡学会会員 _____ 殿は

年 月 日～ 年 月 日までの間

（気管支鏡専門医取得後5年以上※）本施設に勤務し、

気管支鏡検査の実施及び指導に当たったことを証明します。

年 月 日

施設名 _____

施設長 _____ (印)

※ 本年末日までに、5年間の実績となる見込みがあれば申請可能です。

※ 複数の施設で5年間（見込み）を証明する場合は、本用紙をコピーの上、
各施設の証明書をご提出下さい。

⑤-05

在 籍 証 明 書

日本呼吸器内視鏡学会会員 _____ 殿は

年 月 日以降本施設に勤務し、気管支鏡

検査の実施及び指導に当たっていることを証明します。

年 月 日

施設名 _____

施設長 _____ (印)

	新規	更新
業 績	必要単位50単位	
	本法人年次学術集会 または本法人専門医大会 4回以上/5年間を含む (但し、本法人専門医大会 1回以上を含む)	本法人年次学術集会 または本法人専門医大会 4回以上/5年間を含む
診療実績	気管支鏡専門医取得後、認定施設 または関連認定施設で5年以上	
会 員 歴	気管支鏡専門医取得後5年以上	
資 格	気管支鏡専門医有資格者	

※研究業績は、「気管支鏡に関連を有するもの」に限る。

〔業績の分類及び基本単位〕

	出席	筆頭 演者	共同 演者
本法人年次学術集会	10	5	3
本法人年次学術集会時 気管支鏡セミナー	10	5	2
本法人年次学術集会時 ハンズオンセミナー	5	3	2
本法人専門医大会	10	5	2
本法人支部会	5	3	1
本法人支部会主催講習会* (ハンズオンセミナー含む)	5	3	2
WCBIP	10	5	3
関連学会総会**	5	3	1

表にない項目は、参加証に専門医制度における業績単位数が明記されているものに限り、その単位数を認める。

	筆頭著者	共著者
著書***、気管支学、 Respiratory Endoscopy、 JOBIP	10	5
他の雑誌****	5	3

* 事前に承認を受けた講習会に限る。

** 日本医学会、日本外科学会、日本内科学会、日本呼吸器学会、日本医学放射線学会、日本気管食道科学会、日本肺癌学会、日本結核・非結核性抗酸菌症学会、日本小児科学会、日本胸部外科学会、日本レーザー医学会、日本臨床細胞学会、日本臨床検査医学会、日本アレルギー学会、日本移植学会、日本呼吸器外科学会、世界肺癌学会、日本癌学会、日本癌治療学会、APCB等。WCBIP、APCB以外の世界規模の学術集会は申請時に専門医制度委員会が判断する。

*** 分担執筆でも著者であれば筆頭著者になる。但し、10人以上の分担執筆では雑誌の扱いになることもある。(専門医制度委員会が判断) 監修は単位数に数えない。

**** 医学中央雑誌に登録されている雑誌、あるいは英文の医学雑誌。